

「上野千鶴子『女たちのサバイバル作戦』を読む」第6章

〈この章を読んだ印象をグループで話してみよう〉

〈ことば〉

エディプスコンプレックス

分相応

鋳型(いがた) → 鋳物(溶かした金属を型に流し込んで作った品物)を作るために金属を流し込む型のこと

払底(する) ふってい → すっかりなくなること

抜け駆けする

メンヘラ(精神面に問題のある人)

鬱積(する) → うっせきする

〈この章のトピック〉

前章の「娘受難の時代」と背後にある母の存在

娘の母殺し

研究によると、娘の成功には父との関係が良好であることが挙げられている。

父が娘のロールモデルになる条件 → そのための社会的選択肢が娘にも開かれているか、また、父が娘の自分との同一化を冷却しないで行っているかどうかにかかっている。

墓守娘(はかもりむすめ): 嫁いだ娘も実家の親の介護問題から逃れられない。

「良い学校 → よい会社」のしくみが娘にも

優勝劣敗の法則(ゆうしょうれっぱい) → 生存競争で優れたものが勝って、おとったものが負けること。

隠れたカリキュラム(ジェンダートラッキング) → 女の子は女の子向けのライフコースへ上手くいかない人生や人間関係の原因を自分に帰して、自分を責めるようになる。

勝間和代と香山リカ

勝間和代が徹底的にマニアックな話をする YouTube

[https://www.youtube.com/channel/UCWoiNwdr7EEjgs2waxe\\_QpA](https://www.youtube.com/channel/UCWoiNwdr7EEjgs2waxe_QpA)

男並みの達成に加えて、女並みの幸福、この両方が達成されない限り、十分とは言えない。

母親の業績が、子どもの達成で測られる。

失敗作でも成功作でも母は娘を一生手放さない。